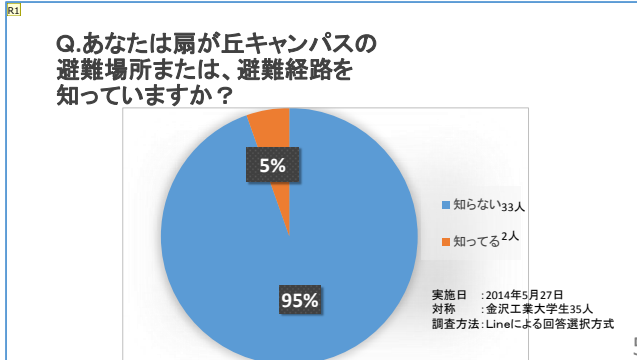
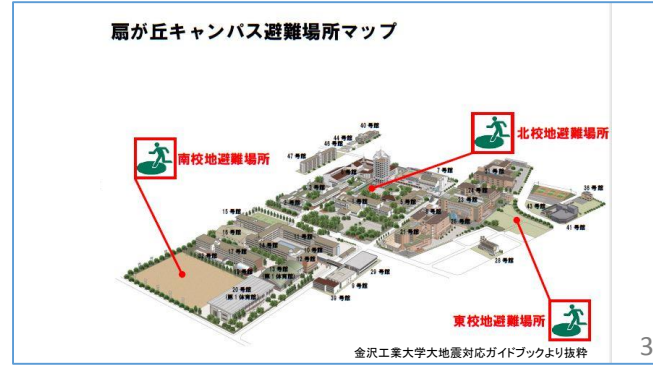


# K3 【ICT技術を用いたスマートシティによる市民生活の向上】

金工大生は避難場所を知る機会が  
少ないため、  
自分たちの避難場所を知らない。

FM305 1班

1



### 仕様

指標	測定方法	現状値	達成条件値
解決を目指すワンプointの問題点の、その問題の程度＝状態の善し悪しを、抽象的に、簡潔に示すには、何を・どんな量を示せば良いかを示す。	左欄で示した指標の具体的な測り方を示す。	根拠・出典を示す。	解決策・アイデアが実施された倍の値・目標とする値。根拠・出典を示す。
認知度 金工大生は途中で災害が起きた場合の避難場所・避難経路を知っている度合い	金工大生に直接、避難場所または経路を知っているかアンケートを取る	アンケートの結果、避難場所を知っている金工大生は6%程度	30% 金工大生約7000人の内30%である2100人に認知してもらおう

### 顧客＝関係者・専門家の声・情報調査

- 金沢市 市長公室 情報政策課 ICT推進室室長松田俊司さん

「防災の分野は予算が設定しにくい」

「大学内というローカルでの取り組みはなかなかない」

### 仕様に関する(自分なりの考え方を持つ下地となる)現状値調査・情報調査

静岡大学

- 理工学部基礎理学科では、新入生のフレッシュマンセミナーの時間に、ハイキングをかねて大学裏のトヤケ森山に登り、山の入り口を全員で確認すると共に山頂から街を俯瞰し、大学と海岸との位置関係の把握を行っている。
- 防災マイスター制度

### 主要な前提条件

特徴を示す項目名 (数値化出来れば計量可能な詳細項目)	必ず満足すべき条件 (単位記号)以上・以下・範囲を示す	根拠・出所・関係者名と「その生の表現」
改善に使える費用	0円	認知度を上げるのにお金を使う必要はない
土地面積	180000m <sup>2</sup> 程度	金沢工業大学扇が丘キャンパス校地面積
対象人数	5500人程度	金沢工業大学扇が丘キャンパスを主に使う学生

